

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-310	15-123	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳) Adherence to a Mediterranean diet, genetic susceptibility, and progression to advanced macular degeneration: a prospective cohort study. 地中海食、遺伝的変異と加齢黄斑変性の関連：前向きコホート研究		
執筆者 Merle BM, Silver RE, Rosner B, Seddon JM		
掲載誌 Am J Clin Nutr. 2015 Nov;102(5):1196-206. doi: 10.3945/ajcn.115.111047.		
キーワード		PMID
地中海食、加齢黄斑変性進行、遺伝子、SNPs、栄養		26490493
要 旨 目的： 地中海食のアドヒアランスと遺伝要因の加齢黄斑変性（AMD）進行への影響について評価を行う。		
方法： 米国立眼病研究所による多施設共同研究である加齢性眼疾患研究（ARDES）の被験者 2,525 人が 13 年間追跡された（平均 8.7 年追跡）。地中海食については、ベースラインの食事調査票により 9 項目（野菜、果物、豆、全粒粉、ナッツ、赤身肉、加工肉、適量のアルコール、一価不飽和脂肪酸と飽和脂肪酸の比率）が aMeDi スコア(0-9 点)の 3 階層に分類された。また、AMD 原因遺伝子が検査された。AMD 進行は 5 段階（CARMS スコア）で評価し、aMeDi スコア、7 つの遺伝子中の 10 の SNP との関連が検討された。		
結果： 2,525 人の 4,663 眼のうち、744 人の 1,028 眼で AMD が進行した。 aMeDi スコア高得点（6-9 点）は、多変量調整解析の結果、AMD 進行のリスク低減と関連していた(ハザード比: 0.74; 95%信頼区間: 0.61, 0.91; P-trend = 0.007)。更に、CFH Y402H 対立遺伝子を持つ者では、aMeDi スコアが AMD 進行抑制と有意に関連していたのに対し(P-trend = 0.0004, P-interaction = 0.04)、CFH Y402H ホモ接合をしている者では、aMeDi スコアと AMD 抑制との関連は見られなかった。		
結論： 地中海食は、後期 AMD への進行抑制と有意に関連しており、その関連は遺伝子変異型の有無により異なることが示唆された。		